

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 齋藤大、成田、岩崎、齋藤慶、奥元、三上、前田、蒔苗、福士、高橋、外崎、田澤、福地 (13名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		11	2		13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 事前の情報で満足することなく、利用者や家族の思いを引き出すような関りを意識して行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント等で訪問した際に、意識してコミュニケーションを図ることで思いを引き出すことができたものの、まだ十分ではないため、今後も利用開始時には特に意識して、良好な関係構築と思いを引き出せるようなコミュニケーションの実践を継続していく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	10			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	1		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	1		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7	6		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 事前のアセスメントを通して、本人の情報や家族のニーズを得て必要な支援ができている。 アセスメントと、利用時に本人との関りを記録することで把握できている。 事前の情報に基づき、利用してからも何を目的としているのか、どのような支えが必要であるのかを関りの中から見出そうとしている。 訪問の都度、変わりはないかの声かけや、困っていることはないか都度確認している。 担当となる利用者とは開始前からカンファレンスで関りを持つことができおり、家族との関係性も作りやすくなっている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用開始まで期間がない場合は、細かな状態までの把握しきれないこともあった。 まだ家族との関りが少なく、不安や必要なことを聞き出すことができていない。 家族との関係づくりのための配慮まで意識ができていなかった。 直接会う機会がない家族の「思い」を理解できていない。そのためにも職員間での情報共有が重要であると感じる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の思いを汲み取り、安心して利用できるようなコミュニケーションを実践し、良好な関係構築に努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福土、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	3	1	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 目標をライフサポートプラン及び記録用紙等に記載するなど、確認し実践しやすい環境を整備する。また、普段の会話から本当にしたいことを気付けるように意識し、本人の本意をうかがえるように心がける。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ライフサポートプランや記録用紙等に、「本人の目標 (ゴール)」が記載されていることで概ね把握することができている。また、利用者の本意を伺うような関わりを持ち、得た情報を記録することで他職員と共有することが少しずつできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	10	1	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	4		13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	6	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	5	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の目標がライフサポートや、記録用紙に記載することで、把握しやすく実施もしやすくなった。 本人のアセスメント、ライフサポートプランから目標を把握することができている。 本人の思いを見つけられるよう、日々の会話を多くしている。また、記録している。 介護経過表や申し送りを通して、普段の関わりの内容を把握することができている。 関りを通しての言葉や意見を記録し、共有することができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 目標は把握しているが、目標達成のためのケアが十分でなかった。 本人、家族どちらの目標「～したい」かわからない。 利用者の認知症の関係で「～したい」をうまく聞き出すことができない。 常に「本当にしたいことは何か？」を意識しながら関わっているわけではないので、会話の中でも本意を見落としているかもしれない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 本人の「～したい」や本意を意識的な関わりの中から伺い、記録に残し共有することでチームとして共通した対応、関りを目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

3. 日常生活の支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	4	1	13

前回の改善計画

- 担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報を収集すると共に、「以前の暮らし方」を最低10個意識して収集を行う。基本となる情報を共有した上で、本人の声にならない声の理解へつなげ、今よりも一歩踏み込んだ対応へつなげる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 「以前の暮らし方」について意識した情報収集が不十分であり、結果として「以前の暮らし方」を踏まえた対応も不十分であったといえる。意識して情報収集し、共有するアイデアが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6	6	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7		1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	5	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	7	2		13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	3	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 担当利用者の生活環境は把握できている。
- 変化については記録することで共有できており、体調の変化に即時的に対応できている。
- 半年ごとのアセスメントにより情報を整理し、把握することができている。
- ADLや状態に合わせ、適切な介護が提供できている。
- 変化が見られた際はプランの見直しを図り、都度状態に合わせた支援ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 担当利用者以外の生活環境の把握まで至っていない。
- 意識した会話ができていない。
- 個々に話をするだけで、ミーティングを設けて声にならない声を言語化できていない。
- 一歩踏み込んだ対応ができていなかったし、どのように踏み込んでいけばいいのか、方法の共有ができなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- 担当職員に限らず、職員全員が関わりの中から収集した情報をすぐ書き出せるよう、「以前の暮らし方確認シート」なるものを準備することで、集めた情報を速やかに共有し、支援やプランに反映できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	6	1	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源、社会資源とは何かの理解を深める。担当職員は今ある情報と不足している情報を整理し、日々の関わりの中で不足している情報を収集した上で、今より一歩踏み込んだ対応へつなげる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源、社会資源については、新型コロナウイルスの影響で既存のものへの活用は留まり、結果的に一歩踏み込んだ対応へつなげることができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3		13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	6	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	3	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	7	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 迎え時などの短い時間においても、自宅での様子を伺うことで生活内容を把握できるようになった。 前回の改善点を踏まえ、足りない部分の情報を補うよう意識的にアセスメントしている。 モニタリングやカンファレンスにて確認することができている。 元々、地域との関りを持っている利用者については、そのまま継続できるよう調整している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用日以外の状況が把握できていない。 新型コロナウイルスの影響で、地域との関係に限られ積極的な支援ができなかった。 資源を知ることができたが、新型コロナウイルスの影響もあり、地域資源の活用が限定的なものになり、積極的に資源を活用するには至らなかった。 民生委員や地域の資源の把握まで至らず、知ろうとする努力が不足していた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても、本人の暮らしに必要な情報(民生委員や地域資源)の把握、活用を継続し、家族や地域との関係が途切れないう支援していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	9	3		13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族の意向を確認し、職員間で意見交換する。その中で、本当に必要な地域の資源の情報を整理し活用することで、柔軟でその人らしい生活を継続することができるように取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で様々な制限があり、病院など最低限必要な社会資源の活用に留まった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	7		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	5			13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	9			13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ医や薬局など、必要時に連絡を取り合い支援することができる。 利用者家族の意向を確認し、必要に応じ柔軟な支援ができた。 利用者の状況や身体的に変化があった際は、「通い」「訪問」「泊り」を工夫して提供することができる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 現在活用している地域資源以外の活用までに至っていない。 新型コロナウイルスの影響もあり、地域資源の活用にも制限があった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 常に利用者、家族の意向や状況を勘案して、コロナ禍においても地域の資源を活用しながら柔軟に支援できるよう取り組む。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

6. 連携・協働

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福土、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3	4	6	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人が地域の活動や交流への関心を高め、受け身にならずにそれぞれが意識して地域交流を実践していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限される中、感染対策を徹底しながら園児との交流や、地域の清掃活動、感染状況を見ながらの会議の開催など、それなりに受け身にならずに取り組むことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3	3	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	2	8	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		3	2	8	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	4	4	4	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> サービス利用開始時や退院時、更新時のカンファレンス等で他のサービス機関との関りを持つことができている。 新型コロナウイルスの影響により開催回数は限られたが、運営推進会議に順番に参加することで、市役所職員、地域包括支援センター職員、町内会会長、地区民生委員、地区住民代表の方々と意見交換を図る機会を得られている。 新型コロナウイルスの影響により、地域の活動への参加が町内の清掃活動のみに限られてしまった。 夏に敷地内において、園児のねぶた運行があり感染対策を行った上で交流が図られた。 利用を検討している家族や本人が、玄関先での対応ではあったが見学を訪れていた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、地域の活動やイベントの多くが中止となり参加する機会を失った。 サービス機関との会議にケアマネと担当が参加することとしているが、スケジュールの関係等により十分な参加には至っていない。 地域住民の来所が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の活動やイベントについて職員一人一人が意識して情報を収集する。その上でコロナ禍においても受け身にならず、地域の中の事業所として認識してもらえよう地域との関り、交流を実践していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

7. 運営

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福士、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	5	4	13

前回の改善計画

- ・地域との協働した取組みについて職員間で検討する。また、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・新型コロナウイルスの影響で様々な制限があり、地域と協働した取組みを行うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	5	2	4	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	11			13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	2	6	4	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・会議の場において業務内容やケア内容について意見を発言することができている。
- ・利用者、家族からの意見・苦情に対しては早急にミーティング等で話し合い、対応を検討し統一した対応を実施できている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所のあり方についてまで考えていなかった。
- ・運営推進会議で意見交換を行い意見を吸い上げているが、運営に反映するほどの内容の意見をいただくには至っていない。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、地域と協働した取組みを実施するまでに至っていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・コロナ禍においても、地域と協働し取組めるものは何があるか職員間で検討する。その結果、運営推進会議の場などで提案し実現することで、地域における事業所の存在価値を高める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福土、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	3	2	13

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される会議の情報を収集し、積極的に参加していく。 ・職務上必要な研修について情報を収集し、積極的に参加することで自らのスキルアップを図り（インプット）、職場に還元（アウトプット）することで、全体のスキルアップを図る。 ・資格取得やスキルアップにつながる研修については、個人的に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で様々な制限があり、地域の会議には殆ど参加できなかった。 ・外部研修については、Z o o m等w e bでの研修参加に切り替えたことで概ね予定通り参加でき、復命報告研修を実施することで職場に還元することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	8	2		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	3	6	13
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	10	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	10		1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・年間の研修計画に沿って研修に参加することでスキルアップできている。 ・介護支援専門員の資格取得のため勉強することで、知識の習得やスキルアップにつなげることができた。 ・新型コロナウイルスの影響はあったものの、Z o o m等w e bでの研修参加に切り替えたことで、概ね予定通り外部研修にも参加することができた。 ・ヒヤリハットメモやインシデントレポートを会議で話し合い今後の対応につなぐことができている。また、回覧することで共有できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・勤務の関係で研修への参加が難しかった。 ・スキルアップに関して消極的であった。 ・新型コロナウイルスの影響により、地域の会議の開催が限られ参加できる状況になかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においてもZ o o m等w e b上での研修参加を継続し、職員個々のスキルアップの機会を確保する。また、地域の会議の情報も収集し、感染対策を徹底した上で積極的に参加する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 2021年10月9日～10月25日

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤大、成田、横山、齋藤慶、三上、前田、吹田、福土、高橋、蒔苗、外崎、山本、福地、工藤 (14名)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	10			13

前回の改善計画

- ・プライバシー、羞恥心についてはもちろん、言葉遣い、言葉掛けが適切であるかどうかを随時、職員同士で確認し対応について十分に気を付ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・身体拘束撤廃委員会において実施している、虐待の芽チェックリストを実施することで、適切なケア、不適切なケアを確認し見直す機会を確保できた。また、職員同士、言葉遣いやプライバシー、羞恥心を意識し声かけを行ったものの完璧とはいかず、継続していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3			13
②	虐待は行われていない	1	2			13
③	プライバシーが守られている	6	6	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1		2	10	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7			13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・3ヶ月毎の身体拘束撤廃委員会及び研修において、身体拘束に関して事業所の方針を全職員で統一し、適切なケア、不適切なケアについて振り返り確認する機会を設けている。
- ・虐待の芽チェックリストにて自身の行動を見つめなおす機会を設けている。
- ・身体拘束、虐待は行われていない。利用者それぞれにあった対応や言葉遣いを意識している。
- ・人権やプライバシー保護に関しては職員間で意識高く守られている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・言葉遣いが乱暴になってしまったり、親しみを込めてではあるが、あだ名で呼んでしまっていることがある。
- ・成年後見制度を活用している人がいないこともあるが、全体的に学ぼうとする意識が低い。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・虐待の芽チェックリストを用いて、個々のケア方法について定期的な見直しの機会を確保する。
- ・いざ成年後見制度が必要になった場合に備え、職員全員で学びの機会を設ける。